

第1回 赤崎小学校跡地利活用検討会が開催されました！

津奈木町の高齢化と人口減少が進む中、平成22年3月に赤崎小学校が閉校となりました。その後、赤崎地区住民参画型アートプロジェクト事業がメディア等にて広く紹介され、津奈木町への町外からの来訪者が多くなりました。

このような状況を踏まえて、赤崎小学校跡地を津奈木町活性化の拠点として位置づけ、この場所がこれからもずっと地域の方々に愛着を持って利活用される空間とするために、平成27年7月に『赤崎小学校跡地利活用会議』が発足しました。これを受けて、平成27年7月22日に「第1回赤崎小学校跡地利活用検討会」が開催され、赤崎小学校跡地の利活用に関する今後の活動方針等について議論されました。

開催概要

□開催日時：平成27年7月22日（水）
18:00～20:00

□開催場所：津奈木町B&G海洋センター体育館 1階会議室

□会員

座長 星野裕司氏（熊本大学大学院自然科学研究科准教授）
副座長 林田昭二氏（建設促進期成会会長）
上村勝法氏（津奈木町議員）
久村昌司氏（津奈木町議員）
松田芳守氏（日当地区区長）
佐々木満雄氏（日添地区区長）
林田廣美氏（赤崎さらら海代表）
林田ちえみ氏（赤崎地区女性代表）
松田昭一氏（赤崎地区住民参画型アートプロジェクト地元代表）
吉野芳美氏（赤崎地区住民参画型アートプロジェクト地元代表）
オブザーバー 西川裕氏（津奈木町長）

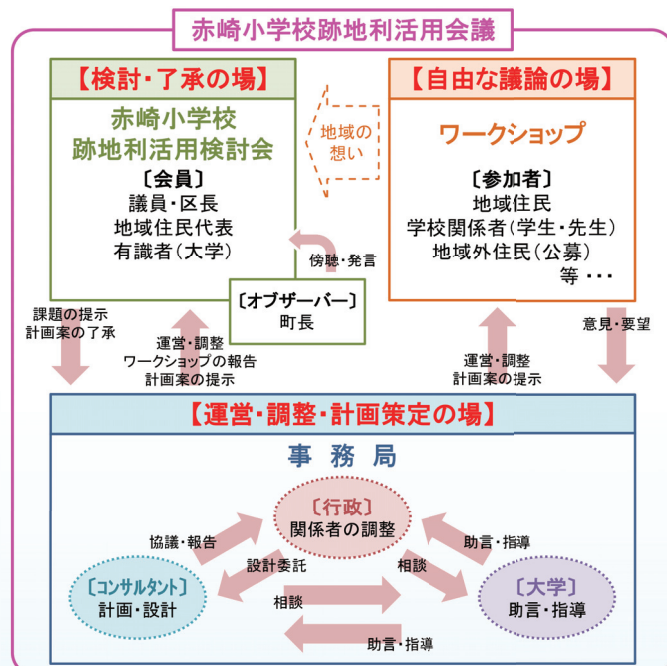
□検討箇所：赤崎小学校跡地（校舎、グラウンド、赤尾島含む範囲）



△第1回利活用検討会の様子

赤崎小学校跡地利活用会議とは？

赤崎小学校跡地の利活用検討は以下のような枠組みで実施します。



□ワークショップ

自由参加・自由発言を原則として、参加者みんなで自由に意見を出し合い、利活用に対する検討を行います。

□赤崎小学校跡地利活用検討会

ワークショップで得られた意見をもとに、実際の整備における課題や事業スケジュール等を検討します。

□事務局

ワークショップ・利活用検討会の運営を行いながら、具体的な利活用計画案を策定します。

第1回利活用検討会で出された主な意見

利活用会議の枠組みについて

- アイデアを出すワークショップを中心として、利活用検討会と事務局でそれを支える枠組みが重要。
- 閉ざされた場所で利活用方針等を検討するのではなく、開かれた場所で検討されるべき。
- 皆が納得できる形で検討を進めたい。
- 赤崎小学校跡地は、小学校校舎だけではなく、グラウンドや周辺の島々まで含めた範囲とする。

ワークショップについて

- 地域住民、学生、地域外住民など多種多様な価値観を持った人に集まって頂き、自由に発言して欲しい。
- 初回のワークショップでは、赤崎小学校で『大切にしたい事』を皆で共有しておくことが重要。
- 学校的なワークショッププログラムとなると楽しい。
- 堅苦しい印象は避けつつ、参加者の『学習』と『実践』は伴いたい。

今後のスケジュール

○第1回ワークショップ

>>> 平成27年8月30日（日）

○第2回ワークショップ

>>> 平成27年9月13日（日）※予定

○第2回利活用検討会

>>> 平成27年11月10日（火）

○第3回ワークショップ

>>> 平成27年12月下旬 ※予定

○第3回利活用検討会

>>> 平成28年1月下旬 ※予定

この「ニュースレター」に関するお問い合わせは事務局まで

熊本県津奈木町振興課自立振興班 〒869-5692 熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木 2123 番地 TEL：0966-78-3111